

## 【ウィルシュータに関する試験データ類】

### ウィルシュータ 抗菌効果試験一覧

対象	試験種類	結果	試験実施機関
○A型インフルエンザ(H1N1)	抗ウイルス効果試験(30秒)	◎	財北里環境科学センター
○ネコカリシウイルス	抗ウイルス効果試験(3分)	○	財北里環境科学センター
○カンピロバクター	MIC・MBC	◎	財北里環境科学センター
○クロストリジウム(芽胞)	MIC	◎	財北里環境科学センター
○黄色ブドウ球菌	MIC	◎	財日本化学繊維検査協会 生物化学センター
○大腸菌	MIC	◎	財日本化学繊維検査協会 生物化学センター
○O-157	MIC	◎	財日本化学繊維検査協会 生物化学センター
○サルモネラ菌	MIC	◎	財日本化学繊維検査協会 生物化学センター
○肺炎桿菌	MIC	◎	財日本化学繊維検査協会 生物化学センター
○MRSA	MIC	◎	財日本化学繊維検査協会 生物化学センター
○緑膿菌	MIC	◎	財日本化学繊維検査協会 生物化学センター
○メタロβラクタマーゼ産生菌	MIC	◎	財北里環境科学センター
○鳥インフルエンザ(H5N3)	抗ウイルス効果試験	◎	鳥取大学農学部付属鳥由来 人獣共通感染症疫学研究センター
○鳥インフルエンザ(H5N1)	抗ウイルス効果試験(10分)	◎	〔独〕農業・食品産業技術総合 研究機構 動物衛生研究所
〃	(有機物10%存在下)		
〃	(1ヵ月乾燥後)		
○鳥インフルエンザ(H7N7)	抗ウイルス効果試験	◎	京都産業大学先端科学技術研究所 鳥インフルエンザ研究センター

抗菌効果・感染低下率 ○=90%以上 ◎=99.99~100%

ウィルシュータを加工した感染予防衛生羽毛布団の側生地による  
M R S A 抗菌効果試験結果

	羽毛布団側生地	綿標準白布
①生菌数の常用対数値	接種直後 4.2 (=生菌数 15,800 個)	接種直後 4.4 (=生菌数 25,100 個)
	↓ 18時間後 <1.3 (=生菌 19.9 個)	↓ 18時間後 7.0 (=生菌数 100,000,000 個)

②感染予防衛生布団の静菌活性値 >5.5 殺菌活性値 >3.1

【参考・基準値】	SEKマーク認定基準	J I S規格 抗菌効果
抗菌防臭加工 . . .	静菌活性値 $\geq 2.2$	静菌活性値 $\geq 2.0$
制菌加工一般用途 . . .	殺菌活性値 $\geq 0.0$	殺菌活性値 $\geq 0.0$
制菌加工特定用途 . . .	殺菌活性値 $\geq 0.0$	殺菌活性値 $\geq 0.0$

感染予防・床擦れ予防衛生マット スーパーフレックス&クッション  
フィルム表面のM R S A 生菌数測定結果

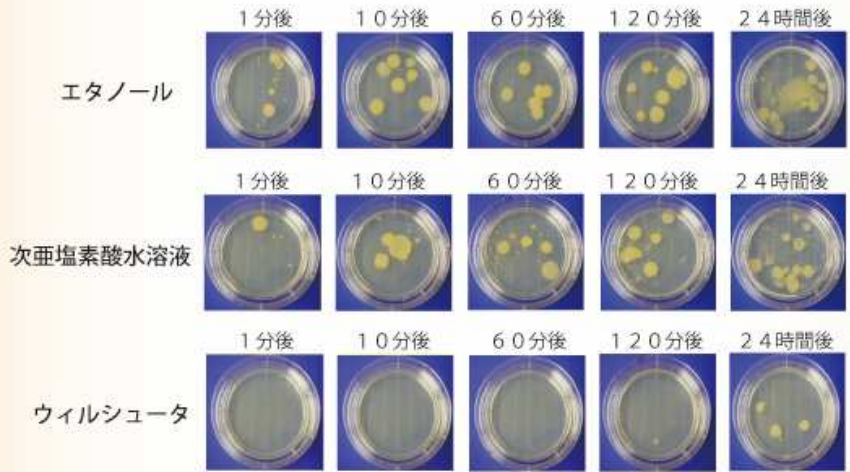
試験菌	測定	試験片	試験片 1 個あたりの生菌数		
			測定 1	測定 2	測定 3
M R S A	接種直後	無加工	$2.7 \times 10^5$	$2.5 \times 10^5$	$2.7 \times 10^5$
	35℃ 24時間後	検体	<10	<10	<10
		無加工	$6.8 \times 10^6$	$5.3 \times 10^6$	$4.6 \times 10^6$

<10 : 検出せず

財団法人日本食品分析センター

無加工試験片 : ポリエチレンフィルム

## 抗菌力・持続力比較試験



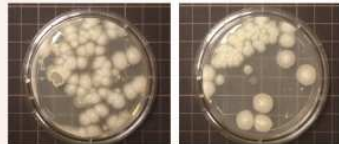
標準寒天培地 36℃ 24 時間測定

第四級アンモニウム化合物との比較データは「ウィルシュータとは」のページに掲載しております。

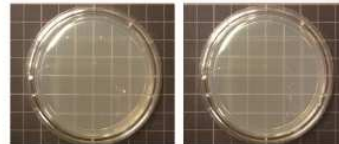
## スーパーフレックスの抗菌性 比較写真データ

### ①北陸地区の医療機関様

A 社医療用マットレス（新商品）  
6ヵ月間お試し使用后

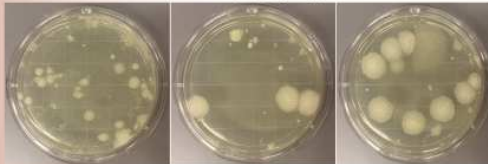


スーパーフレックス  
5年以上継続ご使用

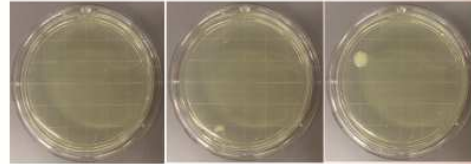


### ②近畿地区の医療機関様

B 社医療用マットレス  
シーツ交換直後



スーパーフレックス  
シーツ交換直後



※標準寒天培地 36℃ 24 時間培養。ご使用病棟とマットレスの管理は同条件。

※医療機関様、福祉施設様で職員様お立ち合いのもと、現在お使いの寝具のデータ採取とレポートのご報告をさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

## ウィルシュータ加工済布製品の抗菌性

滋賀県のある医療機関様で試験的にご利用いただいた後、全床でシガドライのリネンを  
ご採用いただきました（現状使用品は他社寝具会社）。その試験期間中のデータです。

